



嵐山東だより

学校評価特別号

京都市立嵐山東小学校
令和6年9月24日

新秋の涼風が肌に心地よく感じられる今日このごろ、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は本校教育にご理解、ご支援いただき、誠にありがとうございます。7月には、学校アンケートにご協力いただきありがとうございました。結果を報告させていただきます。今回の保護者アンケートの回収率は、75%でした。皆様のご意見を大切にし、より高い目標を目指そうと教職員一同決意を新たにしていきましょう。

<アンケートの見方>

ご協力いただいたアンケートは、ニーズ度調査型アンケートで、保護者、児童、教職員の三者それぞれに、表現の仕方に違いはありますが、ほぼ同じ内容の質問をしています。同じ項目で重要度・実現度を聞き、二つの結果をもとにニーズ度を出すものです。

- 重要度と実現度の最高値は7
- ニーズ度の最高値は49
- 重要度が高く、実現度が低いものほどニーズ度が高い。

数値の見方

5.7 0.1

昨年より0.1pt上がって5.7

ニーズ度が高いほど早期に改善が望まれる項目ということになります。ニーズ度によって、学校の魅力や優先的課題、長期的課題を見出していきます。

◎アンケート集計結果

【保護者】

		質問文	重要度（増減）	実現度（増減）	ニーズ度		
1	確かな学力	教職員が、熱意をもって教育活動に意欲的に取り組むこと。	6.4	-0.1	5.7	0.0	14.5
2		学校が、学習環境を整えること。	6.3	0.0	5.3	-0.1	17.3
3		子ども達が、意欲的に学習に取り組み、学習したことを理解すること。	6.4	0.0	5.0	0.0	19.1
4		子ども達が、話を聞く姿勢を身につけること。	6.5	0.0	5.0	0.0	19.3
5	健やかなかなな身体・心	子ども達が、きまりを守って生活すること。	6.2	0.3	5.2	-0.1	17.2
6		子ども達が、よい友だち関係を築いて楽しく過ごすこと。	6.5	0.3	5.5	0.1	16.3
7		子ども達が、基本的な生活習慣を身につけること。	6.4	0.3	5.4	0.0	16.7
8		教職員が、児童と信頼関係を結ぶこと。	6.5	0.0	5.4	0.0	17.0
9		保護者が、子どもと会話する時間を大切にすること。	6.6	0.2	5.3	-0.1	18.2
10	地域校との家連携・	保護者が、教職員に気軽に相談できること。	6.0	0.0	5.0	-0.3	18.1
11		学校が、教育方針や教育活動を学校・学年だより、HPなどを通して伝えること。	5.8	0.1	5.3	-0.2	15.8
12		保護者が、教育活動(参観・懇談会など)に積極的に参加すること。	5.7	0.1	4.9	-0.3	17.3
13		保護者が、学校から配られるお知らせのプリントなど確認すること。	6.0	0.1	5.3	-0.1	16.3

学校教育目標

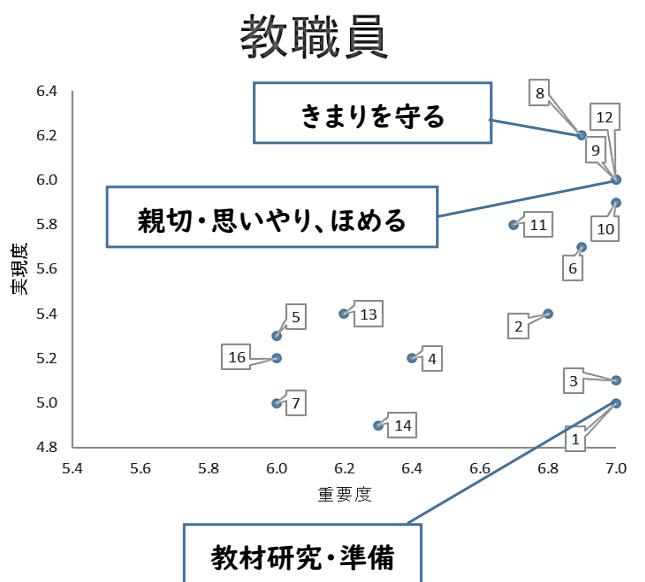
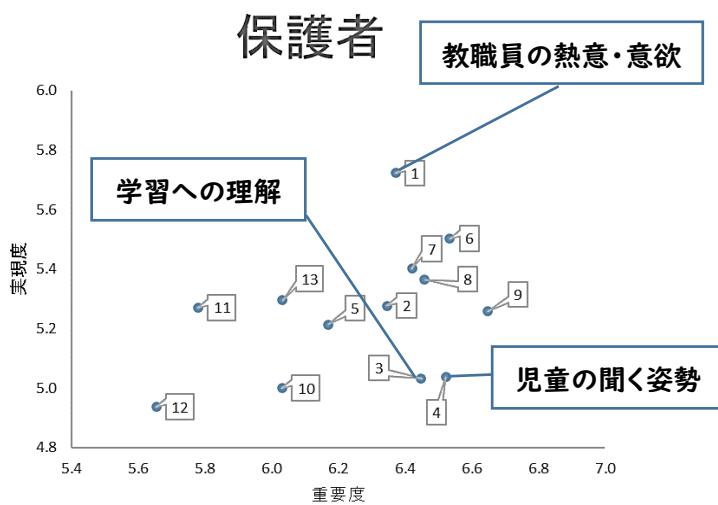
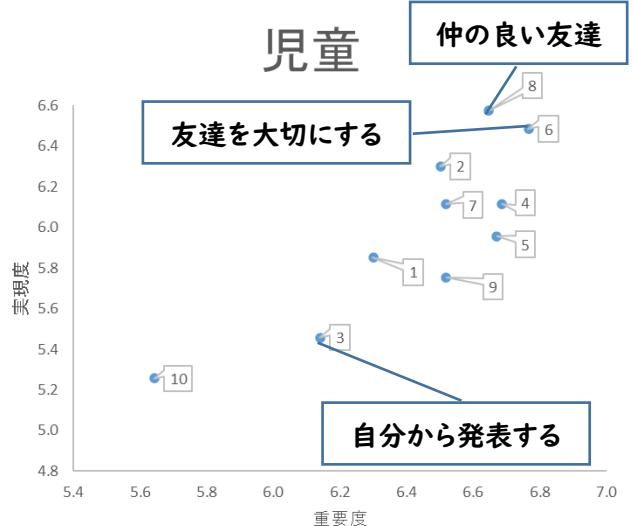
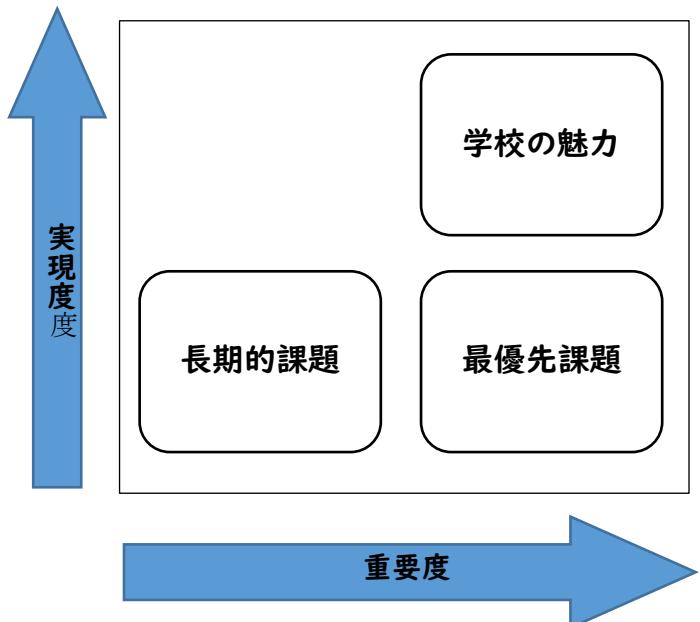
自ら進んで学び 人やもの・地域と豊かにかかわる子どもの育成 ～なりたい自分に向かって、やってみよう やりきろう～

【児童】

		質問文	重要度（増減）		実現度（増減）		ニーズ度
1	確かな学力	勉強(べんきょう)がわかること。	6.3	-0.3	5.9	-0.2	13.5
2		しゅくだいをすること。	6.5	-0.1	6.3	-0.1	11.0
3		じゅぎょう中(ちゅう)に自分(じぶん)からはっぽうすること。	6.1	-0.2	5.5	-0.2	15.6
4		先生(せんせい)や友(とも)だちの話(はなし)をしっかり聞(き)くこと。	6.7	-0.1	6.1	-0.1	12.6
5	健やかな心体・ 地学校との家庭連携・	学校(がっこう)のきまりややくそくをまもること。	6.7	0.0	6.0	-0.2	13.6
6		友(とも)だちを大切(たいせつ)にすること。	6.8	-0.1	6.5	0.1	10.2
7		学校(がっこう)が楽(たの)しいこと。	6.5	-0.1	6.1	-0.1	12.3
8		なかよしの友(とも)だちがいること。	6.6	-0.2	6.6	-0.1	9.5
9		自分(じぶん)からあいさつすること。	6.5	-0.1	5.8	-0.2	14.6
10		家(いえ)の人(ひと)に学校(がっこう)であったことを話(はな)すこと。	5.6	-0.2	5.3	-0.3	15.5

【教職員】

		質問文	重要度（増減）		実現度（増減）		ニーズ度
1	確かな学力	子どもに学力が身につくように、教材研究・準備をすること。	7.0	0.1	5.0	0.3	21.0
2		子どもに学習した内容が定着するように、学習課題(めあて)の提示とまとめ・振り返りをすること。	6.8	0.2	5.4	0.7	17.7
3		子どもの実態や課題に応じて、一人一人を大切にした指導を行うこと。	7.0	0.1	5.1	0.2	20.3
4		子どもに家庭学習の習慣が定着するよう働きかけること。	6.4	-0.1	5.2	0.5	17.9
5		子どもが、授業中進んで発表するように働きかけること。	6.0	-0.4	5.3	0.1	16.2
6		子どもが授業中、人の話を最後までしっかり聞くよう働きかけること。	6.9	0.1	5.7	0.6	15.9
7		授業中、子どもが書く機会を意識して作ること。	6.0	-0.5	5.0	0.2	18.0
8	健やかな心体・ 地学校との家庭連携・	子どもが学校の決まりや約束を守って生活するように指導するとともに、教職員も自ら守ること。	6.9	0.1	6.2	0.9	12.4
9		子どもが他人を思いやり親切にするように働きかけるとともに、教職員も行動すること。	7.0	0.1	6.0	0.5	14.0
10		子どもが友だちを大切にし、仲よくできる学級づくりに取り組むこと。	7.0	0.1	5.9	0.7	14.7
11		子どもが自分から進んで挨拶ができるように働きかけるとともに、教職員自らが挨拶すること。	6.7	-0.1	5.8	0.3	14.7
12		子どものよさを積極的に見つけ、認め、ほめること。	7.0	0.1	6.0	1.0	14.0
13	地学校との家庭連携・	保護者が気軽に質問したり相談したりできるように働きかけること。	6.2	-0.3	5.4	0.6	16.1
14		学校の教育方針について理解し、伝えること。	6.3	-0.1	4.9	0.4	19.5
15		学校・学級だより・学校HPなどで、学校や子どもの様子を発信すること。	6.0	-0.2	4.7	0.4	19.8
16		学校行事(授業参観・懇談会など)に参加するように働きかけること。	6.0	0.0	5.2	0.6	16.8



◎アンケート分析

保護者アンケートでは、基本的に昨年度上半期と大きな変動はありませんでした全体的に重要度は微増となっており、保護者の方の学校教育への関心・期待がうかがえます。一方で「学校と家庭地域の連携」での実現度がやや低下しています。本校の取組について、保護者や地域の方に伝えきれていないということが考えられます。今年度、学校教育説明会の回数を増やしたり、学校行事に多くの学校運営協議会の方に来ていただいたりと、保護者や地域の方との連携強化に努めているところです。「確かな学力」と「豊かな心・健やかな体」の実現度は、ほぼ横ばいであることから、保護者の方には嵐山東小の教育活動に一定のご理解をいただいているものと読み取れます。重要度・実現度ともに高い数値だったのは、「教職員が、熱意をもって教育活動に意欲的に取り組むこと。」で、本校の魅力として今後も継続して取り組んでいく所存です。逆にニーズ度の高い項目（重要度は高いが実現度が低い項目）として、「子ども達が、意欲的に学習に取り組み、学習したことを理解すること。」「子ども達が、話を聞く姿勢を身につけること。」が挙げられます。これらは、昨年度も課題として挙げられているものであり、学年担当を中心に授業改善だけでなく学習の進め方についても皆をしていているところです。以前にすぐーるでお知らせしました通り、2学期から自主勉強の取組について「探究学習」への切り替えもおこなっています。子ども達が、意欲的に学習に取り組み、自分の課題に向かっていけるようにサポートを続けていきます。

児童アンケートでは、重要度と実現度について、若干の数値の低下がみられるものの高い項目がほとんどで、子ども達の自己肯定感が育っていることが読み取れます。「学校が楽しいこと。」「なかよしの友だちがいること。」などの項目から、多くの子ども達は安心して学校生活を送っているようです。学校の魅力として、「友だちとの関わり」が挙げられます。しかし、子ども同士の距離が近くなりすぎることで、友だち関係についての悩みも起こりやすいことが考えられます。各学期ごとにアンケートや面談を行い、「いじめ」や「困りごと」がないかを見ていきます。実現度が最も低かった項目は、「家の人に学校であったことを話すこと。」で、保護者アンケートでも「保護者が子どもとの会話を大切にすること。」の項目は、ニーズ度が高い状況です。ぜひ、家族で会話をする時間をとってほしいと思います。

教職員アンケートでは、昨年度に比べ全体的に重要度が少し下がったものの、実現度については高くなっています。実現度が大きく上がったのは、「子どものよさを積極的に見つけほめること。」で、今後も続けていきたいところです。昨年度より少し改善したものの、「子どもに学力が身につくように、教材研究・準備をすること。」については依然として課題であると考えられます。先日の学校教育説明会でもお伝えした通り、働き方改革によって、教員が余裕をもって授業にあたれるように努めてまいります。

◎記述欄より

◇学級経営・保護者対応について

学級経営・保護者対応について、多くの謝意をいただきました。ありがとうございます。一方で、「生徒指導で自習体制が続いた日があった」「評価が不明瞭でないか」といったご意見もいただきました。生徒指導については、その都度適切に行なうようにしていますが、問題が急を要し、迅速な対応が求められる場合があります。未履修がないように配慮して学習体制を組むようにしています。評価については、学習指導要領（2020年度改訂）における評価の観点と評価規準に基づいて行っています。個々の評価については個人懇談会にて詳細をお伝えしています。不明な点はお尋ねください。また、各学級への要望等につきましては、紙面容量の関係上、記載していませんが、全教職員で共有し、同じく改善に努めています。

◇チーム担任・学年担任制について

学年担当制や教科担任が始まったことについて、「いろいろな先生に触れあえる機会となる」「先生との会話を楽しんでいる」という肯定的なご意見があった反面、昨年度に引き続き「取り組みがわかりづらい」というご意見もありました。これからもチーム担任・学年担任制を生かしてよりよい教育を目指すとともに、その取組の内容やよさを保護者の方々に発信していきたいと考えています。

◇家庭学習について

昨年度と同様に、自主勉強の意義を問うご意見が複数寄せられました。自主勉強については、アンケート分析の欄でも書きました通り、探究学習に特化したもの形を変えて進めていきます。確かな学力を身につけるため、家庭学習は重要なことは変わりません。引き続き、ご家庭でのサポートをお願いいたします。

◇その他

学校施設や行事運営、登下校等について多岐にわたるご意見をいただきました。すべてに対応することは難しい現状ですが、全教職員で情報を共有しています。

お忙しい中たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。以上アンケート結果について、学校運営協議会理事会で内容を共有し、学校教育目標の実現に向けて取り組みをさらに進めていくことを確認いたしました。今期の学校評価を受けて、よりよい嵐山東小学校となるように、さらに力を尽くしてまいります。今後とも、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。